

1 全体計画をデザインする

👉 こんな実践

学習指導要領で示された全体計画作成に基づき、A小学校における教育目標を踏まえた総合的な学習の時間の全体計画を作成した事例。

実践学校 A小学校

実践時期 2月～3月

(1) 校内プロジェクトチームの立ち上げ

- A小学校では毎年1月に、来年度に向けての課題を検討する校内プロジェクトを立ち上げます。その一つとして「地域とのつながりとふるさと学習」というプロジェクトグループが立ち上がりました。各学年の総合的な学習の時間の実践事例を更新し、学習指導要領で示された全体計画を作成することを目的に立ち上がったプロジェクトなので、3年生以上は各学年で必ず一人がメンバーに入るようにしました。
- 学習指導要領に示されている「総合的な学習の時間の構造イメージ」の図を参考にしながら、今までの全体計画を見直し、以下の手順で盛り込むべき三つのもの（以下の①～③）を書き加えていきました。

(2) 全体計画作成の手順

① 必須の要件として記すもの

【学校教育目標と本校がめざす児童の姿】

かしこい子	自ら考え、協力し合って問題を解決しようとする子ども
やさしい子	互いに支え合い、自他を認め合って大切にすること
たくましい子	心と体を見つめ、粘り強く鍛える子ども

【学習指導要領 総合的な学習の時間（第1の目標）】

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

- 「A小学校における学校教育目標（第1の目標）」

「各学校の総合的な学習の時間の目標（第2の目標）」は、「学習指導要領で定められている総合的な学習の時間の目標（第1の目標）」と「各学校における教育目標」を踏まえて定められることが求められています。まず、A小学校の学校目標を全体計画の紙面上部に位置付け、第1の目標との照らし合わせを行いました。

- 「A小学校における総合的な学習の時間の目標（第2の目標）」

【A小学校総合的な学習の時間の目標（第2の目標）】

～地域とつながり、地域を愛し、地域に拓くA小学校の子どもたち～

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人・もの・ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 地域の人・もの・ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解できるようにする。
- (2) 地域の人・もの・ことの中から、問を見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調べてきた情報をもとに考えたりするとともに、考えたことを根拠を明らかにしてまとめ・表現することができるようにする。
- (3) 地域の人・もの・ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

第2の目標は、各学校が総合的な学習の時間での取組を通して、どのような児童生徒を育てたいのか、また、どのような資質・能力を育てようとするのか等を明確にする必要があります。そこで、まず、A小学校における総合的な学習の時間のテーマを考えました。そのテーマ「地域とつながり、地域を愛し、地域に拓くA小の子どもたち」をもとに、学習指導要領の目標を踏まえ、「A小学校総合的な学習の時間の目標（第2の目標）」を考えました。下線部が、学習指導要領の表現をさらに具体的にした箇所です。今まで四つの項目で定められていたA小学校の総合的な学習の目標を、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」という資質・能力の三つの柱に即してまとめ直しました。

○ 「A小学校において定める内容」

【ふさわしい探究課題】		【育成を目指す具体的な資質・能力】		
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
3 4 年	地域の自然、くらし、環境、保全とそれらに関わる人々 ・生命の大切さと素晴らしさ	・地域にある高齢者施設や地域に住む人々、安心安全なくらしを守る人々の素晴らしさや工夫がわかる。 ・生き物を飼育することを通して、生命の不思議や大切さがわかる。 ・情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身につける。	・課題を見つけたり、選んだりすることができる。 ・課題について、調べ方や手順をはっきりさせ必要な情報を収集することができる。 ・収集した情報を整理し、自分なりの考えをもつことができる。 ・分かったことや気づいたことをまとめ、表現することができる。 ・学習したことを振り返り、生活に生かそうとしている。	・課題の解決に向けて、目的意識をもって意欲的に取り組んでいる。 ・課題に解決に向けて、身近な人と力を合わせて取り組んでいる。 ・自分のよさや自分にできることに気づいている。 ・自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の考えや立場を理解する。 ・自分の将来を考えたり、夢をもったりすることができる。 ・自分と地域のつながりに気づき、地域の活動に参加しようとしている。
5 6 年	地域の産業や歴史、郷土を開いた人々の思いや願い ・地域の未来と自分たちのくらし	・地域やA市の産業の様子やよさと課題及びそれに関わる人々の願いがわかる。 ・地域やA市の文化や歴史、郷土を開いた人々の思いを学び、地域の未来像や自分たちの生活との関わりがわかる。 ・情報を、自ら収集・比較・分類・関連付けるなど、探究の過程に応じた技能を身につける。	・課題について解決の方法や手順を考え、見通しを持って追究している。 ・課題についての情報を、適切な手段を選択して収集することができる。 ・収集した情報を整理・分析し、特徴を見つけたり事象を関連づけて課題解決の方法を考えることができる。 ・分かったことや気づいたことを、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、工夫して表現することができる。 ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。	・自分と異なる意見や考えを、受け入れ尊重しながら探究活動に向き合い、目標の達成に向けて取り組んでいる。 ・探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や希望などをもとうとしている。 ・探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。

各学校において定める内容について、学習指導要領には、「目標を実現するにふさわしい探究課題」と「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」の二つを定めることが示されています。まず、探究課題を具体的に定めるために、プロジェクトグループのメンバーで、「地域の人・もの・こと」に関わる過去二年間の地域教材の掘り起こしを行い、一覧表にまとめました。一覧表とこれまでの全体計画の内容を参考にしながら、探究課題が児童の発達段階に応じた課題となるようにと考え、3・4年、5・6年の連学年メンバーで「ふさわしい探究課題」を考えました。次に、

同じメンバーで「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」について考えました。「知識及び技能」は、探究課題を解決しようとする中で、どのような概念の形成を期待するのかということを考えました。「思考力、判断力、表現力等」は、探究課題の解決に向けた探究的な学習の過程（学習方法）を意識し、「課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現」の過程ごとに内容を設定しました。「学びに向かう力、人間性等」は、自分自身に関することと、他者や社会との関わりに関することを踏まえて内容を設定しました。

②基本的な内容や方針等を概括的に示すもの

- 「基本的な内容や方針等を概括的に示すもの」として、「学習活動」、「指導方法」、「指導体制」、「学習の評価」の四つの項目について、本校の教育活動の基本的な在り方を示すために必要な内容や方針を絞り込み、箇条書きで示しました。

<p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態、児童の実態をふまえ、探究活動を実施する。 ・地域の人・もの・ことを生かした学習活動を行う。 ・学習活動を表現する場を設定する。 	<p>【指導方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の課題意識を連続発展させる支援を行う。 ・個に応じた指導の工夫を行う。 ・体験活動を重視する。 ・協働的な学習活動を充実させる。 ・各教科との関連を重視した活動を行う。 ・ふりかえりを位置付け、児童自身が自分の学びを意識できるようにする。 	<p>【指導体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係が中心となり、校内の連絡調整を行う。 ・信州型CSのコーディネーターとの連携体制を確立 ・地域教育力として、学校支援ボランティアの効果的な運用 ・メディアセンターとしての図書館の整備・充実を図る。 	<p>【学習の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。 ・観点別学習状況を把握するための評価基準を設定する。 ・個人内評価を重視する。 ・指導と評価の一本化の充実を図る。 ・学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。
---	--	--	--

③その他 A小学校が全体計画を示す上で必要と考えるもの

- 「児童の実態」については、研究のまとめと児童アンケートから具体的な児童の姿を洗い出し、決められました。「保護者の願い」と「地域の願い」の内容については、保護者アンケート、地域連絡協議会、PTA 諸会議で挙げられた意見から決められました。

<p>【児童の実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○めあてや願いをもって意欲的に学習に取り組んでいる。 ○課題に対して、自然とペアやグループで学び合う姿が見られる。 ○「友だちの考えを聞いたり、自分の考えを発表したりして学習している」というアンケート項目の割合が、高学年になるにつれて低い。 	<p>【保護者の願い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○元気に楽しく安全に学校に通ってほしい。 ○友だちと仲良く、協力して学校生活を過ごしてほしい。 ○学習に落ち着いて取り組み、学習したことを身につけてほしい。 	<p>【地域の願い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつをしっかりしてほしい。 ○交通ルールを守って安全に登下校してほしい。 ○地域の行事に積極的に参加して盛り上げてほしい。 	<p>【学校支援ボランティア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○K地区安全協議会 ○Aっ子見守り隊 ○放課後クラブ（囲碁） ○土曜ワクワク大夢（全8講座） ○おはなしの会 ○A小応援団（おやじの会） ○吹奏楽部応援団
--	---	--	--

ここがポイント！

- A小学校では、毎年総合的な学習の時間の学習活動事例を全体計画の中に付け加えていましたが、実践事例の積み重ねと合わせて、年度当初に担当学年による全体計画の見直しと作成が必要となります。

(3) A小学校で作成した全体計画

<p>【児童の実態】 ○めあてや願いをもって意欲的に学習に取り組んでいる。 ○課題に対して、自然とペアやグループで学び合う姿が見られる。 ○「友だちの考えを聞いたり、自分の考えを発表したりして学習している」というアンケート項目の割合が高学年になるにつれて低い。</p>	<p>【学校教育目標と本校がめざす児童の姿】 かしこい子 自ら考え、協力し合って問題を解決しようとする子ども やさしい子 互いに支え合い、自他を認め合って大切に作る子ども たくましい子 心と体を見つめ、粘り強く鍛える子ども</p>	<p>【保護者の願い】 ○元気に楽しく安全に学校に通ってほしい。 ○友だちと仲良く、協力して学校生活を過ごしてほしい ○学習に落ち着いて取り組み、学習したことを身につけてほしい。</p>
<p>【学校支援ボランティア】 ○A地区安全協議会 ○Aっ子見守り隊 ○放課後クラブ（囲碁） ○土曜ワクワ大夢（全8講座） ○おはなしの会 ○A小応援団（おやじの会） ○吹奏楽部応援</p>	<p>【A小学校総合的な学習の時間の目標（第2の目標）】 ～地域とつながり、地域を愛し、地域に拓くA小学校の子どもたち～ 探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人・もの・ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) <u>地域の人・もの・ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解できるようにする。</u> (2) <u>地域の人・もの・ことの中から、問を見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調べてきた情報をもとに考えたりするとともに、考えたことを根拠を明らかにしてまとめ・表現することができるようにする。</u> (3) <u>地域の人・もの・ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。</u></p>	<p>【地域の願い】 ○あいさつをしっかりとしてほしい。 ○交通ルールを守って安全に登下校してほしい。 ○地域の行事に積極的に参加して盛り上げて欲しい。</p>

【ふさわしい探究課題】		【育成を目指す具体的な資質・能力】		
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
3 4 年	地域の自然、くらし、環境、保全とそれらに関わる人々	<ul style="list-style-type: none"> 地域にある高齢者施設や地域に住む人々、安心安全なくらしを守る人々の素晴らしさや工夫がわかる。 生き物を飼育することを通して、生命の不思議や大切さがわかる。 情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を見つけたら、選んだりすることができる。 課題について、調べ方や手順をはっきりさせ必要な情報を収集することができる。 収集した情報を整理し、自分なりの考えをもつことができる。 分かったことや気づいたことをまとめ、表現することができる。 学習したことを振り返り、生活に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の解決に向けて、目的意識をもって意欲的に取り組んでいる。 課題に解決に向けて、身近な人と力を合わせて取り組んでいる。 自分のよさや自分にできることに気づいている。 自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の考えや立場を理解する。 自分の将来を考えたり、夢をもったりすることができる。 自分と地域のつながりに気づき、地域の活動に参加しようとしている。
	<ul style="list-style-type: none"> 生命の大切さと素晴らしさ 	<ul style="list-style-type: none"> 地域やA市の産業の様子やよさと課題及びそれに関わる人々の願いがわかる。 地域やA市の文化や歴史、郷土を開いた人々の思いを学び、地域の未来像や自分たちの生活との関わりがわかる。 情報を、自ら収集・比較・分類・関連付けるなど、探究の過程に応じた技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題について解決の方法や手順を考え、見通しを持って追究している。 課題についての情報を、適切な手段を選択して収集することができる。 収集した情報を整理・分析し、特徴を見つけたり事象を関連づけたりして課題解決の方法を考えることができる。 分かったことや気づいたことを、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、工夫して表現することができる。 学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分と異なる意見や考えを、受け入れ尊重しながら探究活動に向き合い、目標の達成に向けて取り組んでいる。 探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や希望などをもとうとしている。 探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。
5 6 年	<ul style="list-style-type: none"> 地域の産業や歴史、郷土を開いた人々の思いや願い 地域の未来と自分たちのくらし 	<ul style="list-style-type: none"> 地域やA市の産業の様子やよさと課題及びそれに関わる人々の願いがわかる。 地域やA市の文化や歴史、郷土を開いた人々の思いを学び、地域の未来像や自分たちの生活との関わりがわかる。 情報を、自ら収集・比較・分類・関連付けるなど、探究の過程に応じた技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題について解決の方法や手順を考え、見通しを持って追究している。 課題についての情報を、適切な手段を選択して収集することができる。 収集した情報を整理・分析し、特徴を見つけたり事象を関連づけたりして課題解決の方法を考えることができる。 分かったことや気づいたことを、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、工夫して表現することができる。 学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分と異なる意見や考えを、受け入れ尊重しながら探究活動に向き合い、目標の達成に向けて取り組んでいる。 探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や希望などをもとうとしている。 探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。

<p>【学習活動】 ・地域の実態、児童の実態をふまえ、探究活動を実施する。 ・地域の人・もの・ことを生かした学習活動を行う。 ・学習活動を表現する場を設定する。</p>	<p>【指導方法】 ・児童の課題意識を連続発展させる支援を行う。 ・個に応じた指導の工夫を行う。 ・体験活動を重視する。 ・協働的な学習活動を充実させる。 ・各教科との関連を重視した活動を行う。 ・ふりかえりを位置付け、児童自身が自分の学びを意識できるようにする。</p>	<p>【指導体制】 ・係が中心となり、校内の連絡調整を行う。 ・信州型CSのコーディネーターとの連携体制を確立 ・地域教育力として、学校支援ボランティアの効果的な運用 ・メディアセンターとしての図書館の整備・充実を図る。</p>	<p>【学習の評価】 ・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。 ・観点別学習状況を把握するための評価基準を設定する。 ・個人内評価を重視する。 ・指導と評価の一本化の充実を図る。 ・学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。</p>
--	---	---	---